

# 明治大学大学院 情報コミュニケーション研究科 特別講義 「ホラー映画の魅力を探る～ ゾンビ映画を例にして」

日時・  
場所

2025年  
7月8日 17:10～18:50(予定)  
(火) リバティタワー6階1065教室



申込は **コチラ**

申請期限

7月7日15時

参加無料

※講演は英語ですが、日英バイリンガルの資料使用と、  
質疑応答は一部日本語訳あり

**Zoom・対面ハイブリッド実施**

**※申込者にZoom情報をお知らせします**

## 【概要】

なぜわたしたちは、地上を歩き回る死人たちの物語に惹かれるのであろうか？本講義では、ゾンビ映画というレンズを通して、ホラー映画のパラドックスを探求する。過去約一世紀にわたって批評家の研究対象となってきたゾンビ映画の物語を、そうした映画がどのように聴衆を惹きつけ、困惑させ、導いてきたのかを分析する。ゾンビという物語は、単なる意思を持たない悪鬼についてではなく、アイデンティティ、感染、人種、統治、人間関係の崩壊といった、最も深遠なわたしたちの社会不安を反映した文化的に満たされたテキストなのである。約一世紀にわたる映画的发展と国際的拡大に基づき、本講義では、ジャンルとメディアを越えて、どのようにゾンビが生きて、死ぬかという10のルールを明らかにする。

さらに、ホラーが快楽と批判のシステムとしてどのように機能するかを分析する。どのようにゾンビが開かれた、順応可能なキャラクターとして、恐怖と魅惑の両方に人々を招待するのかを探る。具体的には、『恐怖城』『新感染ファイナル・エクスプレス』『ウォーキング・デッド』『コール・オブ・デューティ』などのゾンビ映画を通じて、ホラー映画の魅力は、単に怖がらせることだけでなく、わたしたちが生活する世界において啓示されうるものを示していることを考察する。



### <講演者プロフィール>

ブライアン・レイン (Brian Lain) 講師

北テキサス大学コミュニケーション学部卓越教職教授。アイオワ大学よりコミュニケーション学博士号(PhD)。専門は、メディア批評、ディベート及び議論学。アメリカ、欧州、日本の国際議論学会での発表多数。ウエイクフォレスト大学及びアイオワ大学ディベート・コーチを歴任。2005年度全米コミュニケーション学会(NCA)批評文化研究部門最優秀博士論文受賞。

## 【問い合わせ先】

明治大学大学院事務室(情報コミュニケーション研究科担当)

☎ 03-3296-4285    ✉ jokomiken@mics.meiji.ac.jp

